

## 旧ベッド用グリップ（旧名称：介助バー）のスイング部の隙間についての注意喚起

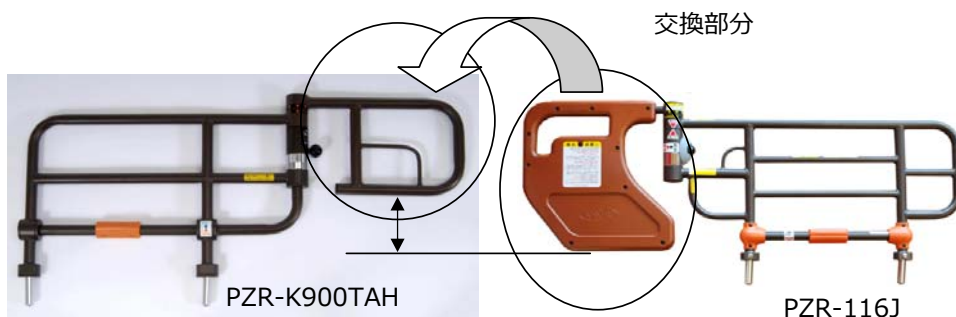
2007年10月まで販売しておりました、旧ベッド用グリップ（PZR-K900シリーズ）とミオレットシリーズ、アルティレットシリーズと組み合わせた場合、スイング部とマットの間に写真の様には足が入る空間があり、状況により、抜けにくくなり、長時間放置すると大腿部やつま先に内出血を起こす可能性がありますのでご注意ください。



旧タイプのベッド用グリップ



これに対して、スイング部のみを新型のベッド用グリップ PZR-116Jの物と交換することは可能です。ご要望ありましたら、弊社アフターサービスまでご依頼下さい。尚、内部構造が複雑なため、作業は全て弊社にて行います。費用：1万円（往復送料込み）開始時期：2009年8月21日から問い合わせ先：品質管理部 092-915-3003 作業日数：通常2-3日、混み具合により変わりますので事前にお問い合わせ下さい。



### ご注意！

現在、対象機種は下記写真の様にロックしやすく、解除もしやすいというメリットもあります。旧タイプに慣れている方にスイング部の交換をすると「ロック・解除しづらい」という状況も想定され、夜中のトイレなど急いでいる場合、ロック忘れによる転倒も想定されます。よって、利用者の身体状況などを良く御考慮の上、交換の決定をお願いします。



旧タイプでは足が入るのでロックしやすい。



新型タイプでは足が入らずロックしづらい。

2009年7月1日

株式会社プラッツ  
品質管理部長 宮崎孝憲